田辺市・橋本市での NPO 出張相談

和歌山県 NPO サポートセンターでは以下の 2 カ所で毎月 1 回、NPO 出張相談会を開いています。NPO 法人設立・運営・役員変更・定款変更・認定 NPO 法人等に関する様々なご相談を受け付けています。ご利用は無料ですが、事前に各センターへ団体名・相談内容等をお知らせいただき、予約をお願いします。なお、1 件あたりの相談時間は原則として 1 時間以内です。

田　辺　市

田辺市市民活動センター

■相談日：原則毎月第 2 金曜日の 10 時半～ 16 時
■場　所：田辺市民総合センター 1F
■相談予約電話番号：0739-26-9833（FAX 同番号）
■対　象：田辺市を中心とした紀南エリアで活動中、または活動しようとする団体

橋　本　市

橋本市市民活動サポートセンター

■相談日：原則毎月第 2 水曜日の 10 時～ 16 時
■場　所：橋本市保健福祉センター 2F
■相談予約電話番号：0736-33-0088　FAX：0736-33-0095
■対　象：原則として橋本市内に拠点を置き活動中、または活動しようとする団体

★ 上記とは別に、オンラインによるご相談、概ね 5 名以上のグループを対象とした県内出張 NPO 相談も実施しています。お気軽にお問い合わせください。

和歌山県 NPO サポートセンターからのお知らせ

■ NPO 事務局セミナー・事務力検定

NPO 事務局セミナーでは、① NPO 法人制度の基礎・所轄庁実務・法務局実務、② NPO 法人の会計、③ NPO 法人の労務の 3 分野について、全国複数の会場をオンラインで結びながら学びます。学んだ知識を確認できる事務力検定も受講できます。NPO 法人の事務担当の方、理事の方、ぜひ受講ください。

日　程　11 月 29 日（日）10:00 ～ 15:45
　　事務力検定を受験される方は 17:30 まで
場　所　和歌山ビッグ愛 9 階会議室 C
　※セミナーだけの方は ZOOM オンラインでも参加できます
参加費　セミナーだけの方は無料
　　検定を受験される方は受験料 1,000 円
主　催　全国 NPO 事務支援カンファレンス
お申し込みは右の二次元コードから。

※ 日本財団「CANPAN データベース」に団体情報を掲載されていて、かつ、事務力検定に合格された方が在籍している団体には「事務力検定合格者が在籍している」ことを示すマークをデータベースに付与することができます。

■ 施設ご利用の一時休止について（12 月 5 日）

12 月 5 日（土）9:00 ～ 12:30（予定）は、和歌山県 NPO サポートセンターの大掃除と機器のメンテナンスに伴い、印刷機・長尺プリンタなどの各種機器のご利用、サークル活動室のご利用を休止させていただきます。みなさまにはご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

また、大掃除を手伝っていただけるボランティアの方を募集します。参加いただける方は和歌山県 NPO サポートセンターまでお知らせください。

■ 印刷機のご利用についてのお願い

和歌山県 NPO サポートセンターの印刷機をご利用の際、
① 一度に 1,000 枚以上の印刷
② 封筒や A4 判以外の色上質紙を使っての印刷
③ A4・A3 判高白色紙を使っての印刷
以上の場合は、在庫確保のため利用日の 5 日前までを目途に事前にお知らせください。予約がない場合は用紙をご用意できないことがあります。

印刷機は Windows パソコンに接続していますので、USB メモリでデータをお持ちいただけますと、データから直接印刷が可能です。紙の原稿より仕上がりがきれいになります。なお、年賀状ソフトなどにインストールされている特殊なフォント（書体）を使用している場合、印刷データに正しく反映されないことがありますので、ご注意ください。

■ 和歌山県 NPO サポートセンターの年末年始の休館について

和歌山県 NPO サポートセンターは、年内は 12 月 27 日（日）まで、年始は 1 月 5 日（火）からの開館となります。

12 月 28 日（月）～ 1 月 4 日（月）が休館となりますので、ご注意ください。

NPO に関するご相談は

和歌山県 NPO サポートセンター
（県民交流プラザ和歌山ビッグ愛 9F）
TEL：073-435-5424　FAX：073-435-5425
メール：info@wakayama-npo.jp　URL：https://www.wakayama-npo.jp/
受付時間：火曜日～土曜日　9:00 ～ 20:50　日曜日　9:00 ～ 17:30
休館日：月曜日・祝祭日・年末年始（12/29 ～ 1/3）
【指定管理者：認定特定非営利活動法人わかやま NPO センター】

和歌山県環境生活部 生活局 県民生活課
（和歌山県庁本館 2F）
TEL：073-441-2053　FAX：073-433-1771
メール：e0313002@pref.wakayama.lg.jp
URL：https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031300/npo/

[本紙は古紙再生率 70%以上の再生紙を使用しています]

和歌山県 NPO・ボランティア情報紙 わか愛愛
Waka aiai
隔月発行
2026 November vol.141
TAKE FREE

和になろう　県内で市民活動を行う団体や人を紹介します　NO.87 ほんわかプロジェクト

和歌山の魅力を再発見し、人と人とのつながりを育みながら地域に貢献する活動を続けているほんわかプロジェクト。事務局長の樫本凱斗さんに話をお聞きしました。

ビーチクリーンから始まった地域への想い

「ほんまもんの和歌山を PR するために、まず和歌山をきれいにしたい」という想いから始まったのが、磯ノ浦海水浴場での清掃活動です。磯ノ浦を訪れた際に多くのごみが打ち上げられている現状に衝撃を受けたといいます。しかし参加者が増え、地域の団体や企業とも連携が生まれ、現在は毎月第 3 日曜日の 9 時から 11 時まで実施しています。

ごみだけではなく「人との出会い」も拾う活動にしたいと樫本さん。参加者は毎回 10 ～ 20 人ほどで、お互いの顔が見える規模だからこそ、交流も深まっているそうです。



ビーチクリーン活動

和歌山の魅力を発信する「ほんわかプロジェクト」

プロジェクトは 2022 年 10 月に、和歌山大学の学生を中心に結成されました。きっかけは、代表の横山拓さんが県外の人から和歌山の魅力を尋ねられた際に、十分に答えられなかった悔しさでした。和歌山の魅力をもっと知り、もっと伝えたいというその想いが活動の原動力となっています。現在のメンバーは 6 人。ほんまもんの和歌山の魅力を発信し、一人ひとりの想いを掛け合わせることをコンセプトにしています。

国際交流の架け橋として

ほんわかプロジェクトでは、海外との交流にも力を入れています。特にアラブ首長国連邦の人々との交流を進めており、日本語を学びたいという方々とオンラインでコミュニケーションを重ねています。そして実際に来日した際には、和歌山を案内しながら交流を深めています。

横山さんは、現在アブダビの日本人学校で教諭として働いており、日本文化に関心を持つ多くの人々とのつながりがあります。実際に和歌山を訪れた海外の参加者からは、豊かな自然や歴史にふれられたことへの喜びの声が寄せられているそうです。


橋杭岩をご案内

環境問題を学び、考える場づくり

環境問題への理解を深める活動も、ほんわかプロジェクトの大切な柱です。海洋ごみやマイクロプラスチック問題について知ってもらうため、体験型ワークショップを開催しています。海岸で回収したプラスチックごみを再利用し、環境保全について学びながらボールペンやコースター、マグネットなどを制作しています。現在は 3 ～ 4 カ月に 1 回のペースで開催され、多くの人が環境への関心を高めるきっかけとなっています。

体験を通して伝える和歌山の魅力

樫本さんは、和歌山の魅力を伝えるためには「体験」が重要だと考えています。親子で体験型観光に参加すると、子どもたちの成長を間近で感じることができます。和歌山ならではの食文化である「めはり寿司」や世界遺産の「熊野古道」など、地域資源を活用した体験型観光の普及にも力を入れています。

自分たちが楽しめる活動だからこそ続けられると語る樫本さん。活動を通じて参加者同士が和歌山への想いを共有し、新たな取り組みが生まれるきっかけになればと期待を寄せています。そして将来的には、国内外から人が集まる交流拠点をつくり、そこから“ほんまもんの和歌山”の魅力を世界へ発信していきたいと展望を語ってくれました。

ほんわかプロジェクト
https://honwaka-project.com/

INDEX

表紙：ほんわかプロジェクト
p.1 ：特集　「わかやま被災者支援ネットワーク」が始動します
p.2 ：新規設立 NPO 法人、助成金＆公募情報、お知らせ
p.3 ：和歌山県 NPO サポートセンターからのお知らせ

特集「わかやま被災者支援ネットワーク」が始動します

和歌山県内で大規模災害が発生した際に外部からの支援をスムーズにコーディネートするための「災害中間支援組織」として『わかやま被災者支援ネットワーク』が設立されることになりました。災害ボランティアセンターとの両輪で被災地支援に取り組みます。

大規模災害が発生したら

大規模災害が発生した場合、行政機関は被災状況を確認し、関係機関に協力を要請します。医療活動を担う DMAT（ディーマット）や福祉活動を担う DWAT（ディーワット）など様々な専門家チームのほか、各種業界団体、電気・通信事業者など、要請先は多岐にわたります。

また、各市町村の社会福祉協議会（社協）は、被災の状況や被災された住民のみなさんの支援ニーズなどを把握し、必要と判断した際には「災害ボランティアセンター（災害 VC）」を設置します。

このように行政機関や社協はそれぞれに大規模災害発生時の活動内容を定めていますが、いざ災害が発生した際には、行政や社協自身が被災していることがあるほか、被災状況によっては行政や社協の取組だけでは被災者に対する支援が十分に届かないこともあります。

一方、各地の災害で活動を続けている NPO 等のなかには様々な資格を保有したり、避難所運営などのノウハウを豊富に有している団体があります。行政機関や災害 VC と連携することで被災地支援が充実することが期待できます。**災害中間支援組織は主に専門的なノウハウをもつ被災地支援 NPO 等のコーディネートをおこなう機関**で、全国各地で設置が相次いでいます。和歌山県でも災害中間支援組織「わかやま被災者支援ネットワーク」が 10 月 1 日に設立されました。

災害中間支援組織の役割

昨年の和歌山県 NPO サポートセンター主催の被災地支援講座に登壇いただいた「災害 NGO 結」などが被災地支援 NPO にあたります。結は、2024 年の能登半島地震や奥能登豪雨で甚大な被害を受けた能登半島エリアで空き校舎を借り受けて活動拠点にしながら、現地の行政機関や災害 VC、他の被災地支援 NPO 等と連携。支援先の重複が発生しないよう活動場所の調整をおこなったり、活動のなかで見つかった支援ニーズを行政機関や災害 VC に伝えたり、企業等から提供のあった救援物資を避難所に配布するなど様々な取り組みをおこなっています。

行政機関が協定等に基づき派遣を要請する各種組織による専門的な活動も期待されますが、道路や通信インフラの断絶などにより被災地の全体像が把握しづらく、支援の「漏れ」「ムラ」が発生することがあります。また災害 VC では、例えば重機等の操作が必要な作業や危険を伴う作業については、ボランティア活動としてコーディネートすることは一般的にできません。

行政機関や災害 VC の活動と専門的なスキルを持つ被災地支援 NPO の活動を組み合わせ、支援の漏れやムラをできるだけ解消しようというのが「災害中間支援組織」に求められる役割です。

今後の計画

災害中間支援組織「わかやま被災地支援ネットワーク」の設立に合わせたシンポジウムが 12 月 6 日に和歌山県立図書館で開催されます。ネットワークは和歌山県、和歌山県社会福祉協議会、わかやま NPO センターの三者が幹事となり、今後順次協力団体を募っていきます。

通常時は情報共有や災害ボランティアセンター設置訓練等への参加などをおこなって「備える力」を高め、万一の災害発生時は和歌山県、和歌山県社会福祉協議会内の災害 VC、わかやま NPO センターの連携・協働で、被災地の状況や被災された方のニーズの把握、県内外からの被災地支援 NPO の情報とニーズとのマッチングを進める計画です。

災害は起こってほしくはありませんが、万一の備えは必要です。みなさんもできるところから「備え」をお願いします。

2015 年関東・東北豪雨被災地の茨城県常総市に設置された「助け合いセンター JUNTOS」の様子


事務所では各地から集まったボランティアが作業中


活動で使用した器具をみんなで洗浄します


日本語・英語・ポルトガル語・スペイン語・中国語の5か国語が用意された生活支援情報紙


毎晩、ミーティングをおこない、情報共有を実施しました（画像は加工しています）

この豪雨では、鬼怒川の氾濫で常総市の約 1/3 の面積が浸水。浸水により孤立した地域もあり、また、外国人労働者が多いことから、行政の支援情報を他言語に翻訳し、避難所に配布。

また、市内中心部のビルの空室に民間の被災地支援 NPO が集まる体制が構築されました。毎晩、情報共有会議が開かれ、活動内容の報告、行政機関や災害 VC に伝達すべき事項の共有、今後必要となる支援内容の検討などがおこなわれていました。

新規設立 NPO 法人

このコーナーでは、前号発行以降に NPO 法人の新規設立認証を受けた NPO 法人をご紹介しています。

◎NPO 法人 人と猫のひだまり（有田市）
2026 年 8 月 25 日認証　代表者　江川美奈江
介護予防活動や住民の交流を進めるほか、地域猫などの動物愛護活動も実施します。

◎NPO 法人 Eureka Link WAKAYAMA（和歌山市）
2026 年 9 月 10 日認証　代表者　川島有紀子
こども食堂をはじめとした様々な活動を通じて多世代が交流できる地域づくりを進めます。

◎NPO 法人 URAGAMI BASE（那智勝浦町）
2026 年 10 月 6 日認証　代表者　谷口 康則
那智勝浦町の空き家等を利用した地域コミュニティの構築、多機能型拠点の運営を目指します。

助成金 & 公募情報

大阪コミュニティ財団 2027 年度 公募助成

【対象事業】 芸術・文化の発展・向上、社会福祉の増進、災害復興支援、社会教育・学校教育の充実、医学医療の研究推進・患者支援など 13 分野あります
【対象団体】 1 年以上の活動実績があり、2027 年 4 月～ 2028 年 3 月に事業が実施できる団体（法人格の有無は問いませんが、一部対象地域を限定している助成事業があります）
【助成金額】 事業により異なります
【締め切り】 11 月 24 日（火）当日消印有効
【主　　催】 公益財団法人大阪コミュニティ財団
【備　　考】 詳しくはウェブサイトをご覧ください。
https://www.osaka-community.or.jp/

子どもゆめ基金（第 1 次募集）

【対象事業】 子どもを対象とする体験活動（自然体験活動、科学体験活動、交流を目的とする活動、職場体験活動、社会奉仕体験活動など）や読書活動、こうした活動を支援する事業
【対象団体】 NPO 法人・ボランティア団体、公益社団・一般社団法人、公益財団・一般財団法人など
【助成金額】 全国規模の活動：1 件 600 万円上限、都道府県規模の活動：1 件 200 万円上限、市区町村規模の活動：1 件 100 万円上限
【締め切り】 12 月 2 日（水）17 時
【主　　催】 独立行政法人 国立青少年教育振興機構
【備　　考】 詳しくはウェブサイトをご覧ください。
https://yumekikin.niye.go.jp/
電子申請の ID 取得に時間がかかるため、早めに申請してください。来年 5 月に第 2 次募集が予定されています

お知らせ

メールマガジン配信登録受付中！

和歌山県 NPO サポートセンターでは毎月 1 日・15 日（休館日に重なる場合は翌開館日）にメールマガジンで、直近半月にいただいたイベントや助成金情報などのヘッドラインをお届けしています。配信登録は二次元コードで受け付けています。ぜひご登録ください。

メルマガ配信登録

団体データベースへの登録受付中！

和歌山県 NPO サポートセンターでは和歌山県内の NPO・ボランティア団体のデータベースを運営しています。このデータベースでは、地域や活動分野、ボランティアや寄付の募集の有無などで絞込検索が可能です。

データベース閲覧

和歌山県 NPO サポートセンターには県民のみなさんからの「こんな活動をされている団体はありますか？」「こんなボランティア活動はないですか？」というお問い合わせをよくいただきます。

データベース登録

そういうとき、データベースに登録のある団体はすぐに紹介することが可能です。登録をいただいた団体はインターネット検索でも見つけやすくなります。ぜひご登録をお願いします。

また、ボランティアの募集をご希望の場合は、現場での活動支援だけではなく、在宅でもできる活動、短時間でもありがたいという活動など、様々な形態の活動もあればぜひご紹介ください。

イベント情報・助成金情報発信中！

和歌山県 NPO サポートセンターに届くイベント情報や助成金情報は随時情報ブログに掲載しています。

また、みなさんからのイベント情報も受け付けています。チラシなどを和歌山県 NPO サポートセンターにお送りください。電子メールでも受け付けます（info@wakayama-npo.jp）。

サポセンに寄せられるイベント・助成金等の情報はこちらから。イベント情報は随時受付しています。

イベント情報　助成金情報

サポセン SNS 随時更新中！

Facebook　X（旧 Twitter）　Instagram